

競技注意事項(案)

1 競技について

- (1) 本競技会は、2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により運営する。
- (2) 競技者招集について
 - a 招集場所は、フィニッシュ地点前方の第1ゲート付近に設ける。
 - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より掲示する。(招集開始時刻までには、招集場所に集合すること。)招集開始時刻より点呼を開始する。競技者本人がナンバー、スパイク、腰ナンバー標識、商標等の確認を受けること。
 - c 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。他の種目に出場していて招集時刻に間に合わない場合は、最初の出場種目の招集時に招集所の競技役員に申し出ること。
 - d 招集所から競技場所への移動は、係員により誘導する。
 - e 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で招集を受けること。ただし、2種目目からは混成控室にて点呼(トラックは競技開始の20分前、フィールドは40分前)をとったのち、混成競技系の指示により競技場所へ移動する。
- (3) ナンバーカードについて
 - a 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した2枚のナンバーカードを付けなければならない。跳躍種目の競技者は、胸または背のどちらか一方でよい。
 - b トラック競技に出場する選手は、大会本部が用意する写真判定用のレーンナンバーカードを右腰や後方に付ける。
 - c 混成競技最終種目では、総合得点の高い競技者から順番に「1」・「2」・「3」・・・と順位を示すナンバーカードを使用する。混成控室で混成競技係から配布されるものを胸部につける。
 - d 3000m以上の種目については、配布されたナンバーカードに通しのナンバーカードを使用する。通しのナンバーカードは招集の際に配布する。
- (4) トラック競技の不正スタートは、日本陸連競技規則第162条の規定とおりとす。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (6) 組・走路順および試技順について
 - a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技の走路順およびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
 - b トラック競技における決勝の走路順は、番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼りだす。
- (7) リレー競技について
 - a オーダーは、予選・決勝とも所定のオーダー用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。一度申告したその後の変更は医務員の判断がない限り認められない(競技規則第170条11)ので注意すること。
 - b リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (8) 跳躍競技のバーの上げ方について
下記のとおりとする。ただし、天候等の状況等により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。1位の決定を要するときは、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	1m70 練習 1m90 練習	1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 以後3cmずつ上げる
	女子	1m40 練習 1m50 練習	1m45 1m50 1m55 以後3cmずつ上げる

混成走高跳 (八種競技は2ピット)	八種	1m40 練習 1m60 練習	1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 以後3cmずつ上げる (2ピットとも同じ高さから開始する)
	七種	1m10 練習 1m30 練習	1m15 1m20 1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 以後3cmずつ上げる
棒高跳	男子	3m50 練習 4m00 練習	3m60 3m70 3m80 3m90 4m00 以後10cmずつ上げる
	女子	2m30 練習 2m70 練習	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 以後10cmずつ上げる

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする。 ※ 棒高跳の練習はゴムバーを使用する。

(9) フィールド競技について

フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

(10) 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認め、競技者が視聴可能な場所はコーチングエリアとする。吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該競技エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、日本陸連競技規則第144条に基づき、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技場内に持ち込むこともできない。

(11) 競技用具について

競技用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、男女のやりと女子ハンマーは競技実施日の検査で合格した用具を使用できる。棒高跳用ポールについては競技者が持参した用具の使用を認める。

2 表彰について

各種目とも8位までの入賞者は、表彰を行うので玄関ホール表彰者控所に競技役員の指示に従い集合すること。

3 応援について

- (1) メインスタンドでは集団応援は禁止する。
- (2) 各フィールド種目実施場所付近での集団応援は禁止する。
- (3) 競技の妨げとなる応援は禁止する。
- (4) 横断幕・のぼり旗などの応援布は、サイドスタンド・バックスタンド最上段のフェンスにのみ許可する。

4 練習について

- (1) 練習は原則として、本競技場・補助競技場および雨天走路を使用し、事前に連絡した「練習会場使用日程表」に従い行う。
- (2) 練習中の事故は、各学校の引率者の責任で対処すること。

5 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。

6 その他

- (1) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」を順守すること。規定外のものが見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬については、100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) 競技場は10月24日(木)13時00分、25日(金)10時00分・26日(土)・27日(日)は7時00分以降に競技場を開場する。ただし、25日(金)の男子棒高跳の練習に限り9時00分より競技場使用可能とする。
- (4) 学校受付は、競技場正面玄関ホールにて、10月24日(木)は13時から16時30分まで、25日(金)は9時00分から、26日(土)・27日(日)は7時00分から行う。
- (5) 混成競技者控室は、競技場1F男女更衣室に設ける。
- (6) 撮影禁止エリア内での撮影は禁止とする。